



奨励賞
KDDI株式会社

「IoTごみ箱」

ごみ箱のごみ残量をIoTで 低コスト運用を実現

観光地では、費用や管理上の問題でごみ箱を設置しないケースがある。しかし、ごみを捨てる場所がないことで観光客は不便を感じており、逆にポイ捨てによる環境悪化を招く原因ともなる。

そこで、この課題をWin-Winに変える対策として、KDDIでは、「IoTごみ箱」のトライアルを行った。

ごみ箱上部に通信機器を設置し、ごみとの距離が一定数値になると、メール通知を行う。収集センターではPCやモバイルからごみ残量をリアルタイムで可視化できる。

ごみ回収のタイミングを最適化し作業の生産性を高める。

ごみ箱は設置場所が多数であるため、通信費用が課題となる。今回は、LPWA 通信方式であるLTE-Mモジュールを活用し、低コスト化を実現

した。

得られたデータを有効活用することにより、今後、新規ビジネスの創出も期待できる。

図 「IoT ごみ箱」システムの全体像

